

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」長岡校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	きらりひろば(小集団活動)の定期開催	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6名の少人数で集団活動を実施。少人数だからこそ「できるかも」「やってみよう」とチャレンジするご様子が多く見られています。 ・お子さまひとり一人の得意なこと苦手なことを考慮したうえで活動内容を考え実施しています。 ・毎回一緒にするメンバーのお名前を憶えて呼び合ったり、積極的にやりとりをするご様子が見られるようになりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回平日に定期開催しています。定期開催の日とは別日で土曜日にも開催することで、参加できるお子様の幅が広がりました。今後は体制が整い次第、開催日を増やすことができるよう努めてまいります。
2	園訪問の実施・各関係機関と顔の見える関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園や関係機関との情報連携を行い、お子さまへの具体的な対応を話し合い、お互いの役割分担と協力関係の中でお子さまを支援しています。 ・関係機関へ具体的な活動の内容とお子さまの様子等について情報連携を行っています。 ・各関係機関の方に当事業所へ足を運んでいただき、きらりひろば(小集団活動)の様子を公開しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を図り、お子さまの状況を確認し、よりよい対応について相互理解を深めていけるよう、顔の見える関係作りを強化していきます。 ・必要時には、各関係機関の方を当事業所へお呼びし、支援見学等の機会を設けることで、当事業所の活動内容や支援の様子を共有させていただきます。
3	きらりカフェ(ママカフェ)の定期開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の4月より月1回きらりカフェ(ママカフェ)を定期開催しています。保護者の皆さまからアンケートにご協力いただき、きらりカフェの参加希望の有無や、話したい内容、知りたい内容などニーズの聴き取りを行ったうえで実施しています。参加していただく人数も調整させていただき、少人数で実施することで落ち着いた和やかな雰囲気の中、ゆっくりお話しをしていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回定期開催しています。今後は体制が整い次第、開催日を増やし、より多くの方が参加することができるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアをパーティションで区切り空間をつくっているため、隣の支援ブースの様子が気になる場面が時折見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた空間を有効活用できるように場面や活動内容に合わせて環境構成を工夫していきます。
2	各種訓練の実施・取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・実施後の伝達不足により、実施したことを周知することができていない状況が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな媒体(ブログやインスタグラム等のSNSや、おたよりなど)を有効活用しながら実施した様子を保護者の皆さまへお伝えしていきます。
3	父母の会の活動の機会やきょうだい同士の交流の機会などの家族支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年よりママカフェを中心とした保護者同士の交流の機会を設けました。父母の会の活動やきょうだい同士の交流の場を設ける機会がありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じて父母の会やきょうだい同士の交流の機会など、より幅広い機会を設けていけるよう体制を整えていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」長岡校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 11名

回収数 11名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	3	0	0		・限られた空間を有効活用できるように場面や活動内容に合わせて環境を整えていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	0		・コンプライアンスに則り、必要人員を今後も継続して配置してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	1		・限られたスペースの中で行える支援の工夫や環境を整えることで安全かつ活動に集中して取り組めるように配慮いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		・感染症予防の点からも考え、今後も清掃および消毒を継続して行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	1		・お子さまの得意不得意を考慮して、ひとり一人に合わせた支援プログラムを提供いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		・今後もひとり一人のペースに寄り添うことを大切に丁寧な支援を進めさせていただきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		・お子さまと保護者の皆さまのニーズをしっかりと聞き取り、満足いただける支援計画を今後も作成していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		・ガイドラインに則り、お子さまの支援に限らず、ご家族の方も含めた支援計画を今後も作成していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	2	0	0		・支援計画に沿った支援を行うとともに、必要に応じてご様子に合った支援プログラムを提供していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2	0	0		・支援プログラムが固定化しないよう、お子さまのご様子に合わせて支援プログラムの振り返りや検討会議を定期的に行っています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	0	1	3		・通所していただいているお子さまの特性から初めてのお子さまとの関わりが難しいため、現状機会がありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		・契約時に保護者の皆さまへ書面を見ていただきながらご説明しており、今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		・契約時に保護者の皆さまへ書面を見ていただきながらご説明しており、今後も丁寧な対応を心掛けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	3		・ペアレントトレーニングは現在行っておりませんが、今後検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0	・毎回支援の後、支援の様子をフィードバックしていただいている。	・今後も保護者の皆さまと密に連携を図り、お子さまの発達段階について共有させていただけたら幸いです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		・必要時には保護者の皆さまのご希望に応じて、個別で面談を実施しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		・お子さまの自己肯定感が育まれていくように肯定的な対応とひとり一人に寄り添う支援を今後も行っていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	0	3		・昨年よりママカフェを中心とした保護者同士の交流の機会を設けました。今後はニーズに応じて、父母の会やきょうだい同士の交流の機会など、より幅広い機会を設けていけるよう体制を整えていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0	・保護者の皆さまからいただいたご相談や申し入れに対し、迅速かつ丁寧に対応しております。今後も保護者の皆さまに寄り添った対応を心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0	・今後も保護者の皆さまと密に連携を図り、お子さまの発達段階について共有させていただけたら幸いです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	1	・事業所の自己評価は毎年実施し、HPに掲示しております。また、イベントや活動の様子はインスタグラムやブログ等の媒体に掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0	・鍵付きキャビネットで厳重に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	2	・マニュアルは保護者の皆さまへ周知が徹底されておりませんが、各災害発生を想定した訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	3	・毎月、火災や地震、水害、不審者対応などの避難訓練を実施しています。避難場所までの避難ルートを確認するための訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1	・現状、お子さまに大きな怪我や事故はありませんが、今後も危険意識をもって安全の確保に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	3	・現状、お子さまに大きな怪我や事故はありませんが、今後も危険意識をもって安全の確保に努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0	・今後もお子さまが安心して自分の力を思う存分に発揮し、自分らしく過ごすことができる一つの居場所として在れるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	・大好きです。いつも喜びます。 ・「行かない！」と言っているにもかかわらず楽しんでいきます。 ・毎週とても楽しみにしています。「きらいっつ？」とよく聞いてきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	・いつも親のとりのめない話に耳を傾けていただいて感謝です！ ・子どものやる気を引き出してくれるのでとてもありがたいです！！

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」長岡校	公表日	2025年 2月 15日
------	-------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法令を遵守したスペースを確保しています。個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めます。	・個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令が必要とされる人数を配置しています。	・今後も利用定員やお子さまの状況に合わせて体制を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリー化はされていませんが、特性に合わせて対応しています。	・今後も状況に合わせて適切な配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・お子さまが気持ちよく過ごすことができるよう環境構成に努めています。	・今後も清潔な環境を保てるよう生活空間を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションを活用し、個別スペースを設定しています。	・個別のケースに応じた支援スペースの確保に努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日朝礼や終礼、事業所内ミーティングを行い目標設定の確認と振り返りを行っています。	・今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の皆さまからいただいたご意見を事業所内で共有しています。	・今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼や終礼、事業所内ミーティングの中で、意見交換を行い業務の改善を図っています。	・今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・外部評価については、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・初任者研修や全ての職員を対象とした社内研修等、定期的に参加しています。	・今後も継続して職員の資質向上に繋げていきます。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・支援プログラム公表に向け、現在体制を整えるとともに準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにアセスメントを行い、個別支援計画書を作成しています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全職員で計画作成会議を行い共通理解のもと個別支援計画書を作成しています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・全職員で計画作成会議を行い共通理解のもと個別支援計画書の内容に沿った支援プログラムを立案・実施をしています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントシートを活用し、お子さまの現状把握に努めています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・アセスメントやフィードバック実施時に、保護者の方やお子さまからニーズをお聞きし、現状に合わせた支援内容の設定を行っています。	・お子さまひとり一人の現状に合わせた個別支援計画書を作成し、より具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援の振り返りを行い、細かな情報共有を行っています。	・今後も職員一同で細かな情報共有を行い、活動プログラムを立案していきます。

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・お子さまの現状に合わせたプログラムを計画し、実施しています。	・お子さまの現状に合わせたプログラムを提供し、いけるように、保護者の皆さまに対して支援時のフィードバックを丁寧に行ってまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別支援に加えて、小集団での活動も実施しています。	・今後もニーズに合わせて継続的に小集団イベントを計画、実施してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員間での情報共有を徹底して行っています。	・今後も支援の打ち合わせを丁寧に行いながら必要な支援を連携して行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・職員間での情報共有を徹底して行っています。	・今後も支援の打ち合わせを丁寧に行いながら必要な支援を連携して行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援記録をとり、支援プログラムの振り返りや見直しを行うことで、お子さまの成長や現状に合わせて活動プログラムを計画、実施しています。	・今後も継続して業務改善に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、見直しを行っています。	・定期的に保護者の皆さまとお子さまの姿について情報共有を行い、個別支援支援計画書の適切な見直しを行ってまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者または支援に携わっている指導員が参加しています。	・今後もお子さまの状況をよく理解している者が参画してまいります。 ・会議前にはお子さまの様子について事業所内で支援会議を行います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者の皆さまのご要望に合わせて情報共有を行っています。	・必要が生じた場合にすぐ対応ができるよう、体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報提供書の作成や関係機関との連携を図っています。	・必要に応じて各関係機関との情報共有を行ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・情報提供書の作成や関係機関との連携を図っています。	・必要に応じて各関係機関との情報共有を行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・外部専門家による研修に参加し、助言を受けています。	・専門的な機関からご助言をいただき、情報を正しくアップデートする中で、お子さまや保護者の皆さまへ適切な支援を提供してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・定期的に行っているイベント等で活動する機会があります。今後も個々のお子さまのニーズに合わせて機会を設けてまいります。	・今後も個々のお子さまのニーズに合わせて機会を設けてまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後に保護者の皆さまとフィードバックの時間を設け、お子さまの様子や今後の課題についてお話をしています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応してまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。	・今後もご家庭の様子を伺い、保護者の皆さまの不安が軽減するように対応してまいります。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明しております。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応してまいります。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・個別支援計画を作成する際には、モニタリングを行い、家庭や子ども園等のご様子、当事業所等のご様子を保護者の皆さまと共有することでお子さまの発達段階を把握し、共通理解を図っています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・モニタリングでのお話をまとめたモニタリング書と個別支援計画原案を提示し、支援目標や実施する支援内容を確認しています。同意を得ることができたら、個別支援計画書を発行しています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・支援後のフィードバック時やご希望があった場合には、個別の相談援助を行っています。	・今後も継続して保護者の皆さまに満足いただけるよう丁寧に対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・月1回程度ママカフェを実施しております。	・今後も定期的に開催できるように体制を整えていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・事業所に受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えるとともに、個別でのご相談に対応しています。	・いただいた苦情に関しては、社内フローを定め、迅速かつ適切に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ブログやインスタグラムで活動内容やイベントの開催をご案内しています。	・今後も事業所内でのイベントや活動内容について、保護者の皆さまへ継続的に発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切に対応しています。	・今後も細心の注意を払い、個人情報の取り扱いに配慮していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚情報などを活用しながら、状況に合わせて意思疎通、情報伝達を行っています。	・お子さま、保護者の皆さまが分かりやすいように配慮ある対応を行っています。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・毎年クリスマスイベントでは、地域のボランティア団体の方をお呼びし、コンサートを開催しています。	・今後もご要望により内容を検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを策定し、研修を実施しています。	・今後もマニュアルを基にさまざまな場面を想定した訓練を行い、有事の際には全体で動けるよう努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画を策定し、定期的に必要な訓練を実施しています。	・災害発生を想定した訓練を行い、有事の際に全体で動けるよう努めていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・都度お子さまの状態を確認させていただいております。	・お子さまの身体的情報については必要時に保護者の皆さまと情報を共有させていただき、服薬の情報についても変更がある都度、確認をさせていただいています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーの有無を確認し、指示書に基づく対応を行っています。	・必要時はアレルギーの有無や健康状態の情報共有をさせていただいています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・お子さまの安全を第一に考え、あらゆる場面を想定し、安全計画を作成しています。必要な研修を受け、事業所内で訓練を実施しています。	・さまざまな場面を想定し、お子さまの安全を第一に考え支援を行っています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・保護者の皆さまへ緊急連絡先の確認を行い、緊急連絡先名簿を作成し、有事に備えています。	・災害時用の持ち出し避難リュックとともに緊急連絡先情報もすぐに持ち出しができるように設置、保管しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、再発防止に向けて職員間で情報共有を行っています。	・お子さまと保護者の皆さまが安心して過ごしていただけるように、必要時にはヒヤリハットを作成し、再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・マニュアルを策定し、研修を実施しています。	・お子さまと保護者の皆さまが安心して過ごしていただけるように、必要な研修に参加し適切な対応ができるよう努めています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者の皆さまには必要に応じて契約時に丁寧に説明し、個別支援計画書の特記事項にも記載しています。	・保護者の皆さまには契約時に丁寧に説明し、個別支援計画書の特記事項にも記載していきます。	